

nometrics, 13, 469-475.
 橋口 渉子, 1983: 農業利用における小規模風エネルギーのメッシュデータによる評価方法の研究, 第1報, 第2報, 天気, 30, 367-384.
 ———, 1984: 同上, 第3報, 第4報, 天気, 31, 471-488.
 ———, 1984: 同上, 第5報, 天気, 31, 695-700.

———, 1984: 同上, 第6報, 天気, 32, 23-31.
 小峯, 村上, 柴田, 松野, 1980: メッシュデータを用いた地形因子解析法による任意の地点の平均風速の推定方法に関する研究, 天気, 28, 849-861.
 田村坦之, 近藤 正, 1978: 最近のGMDHの方法論と応用, オペレーションズ・リサーチ, 23, 104-111.
 吉野正敏, 1961: 小気候, 地人書館, 63.

第3回エアロゾル科学・技術研究討論会講演および参加募集

主催 エアロゾル研究協議会
共催 静電気学会, 日本気象学会, 日本空気清浄協会, 日本大気電気学会, 粉体工学会および同エアロゾル部会
協賛 化学工学協会, 空気調和・衛生工学会, 大気汚染研究協会, 日本産業衛生学会, 日本保険物理学会, 日本防菌防黴学会, 国際エアロゾル医学会日本支部

各分野のエアロゾル研究者・技術者の情報交換と研究交流を目的として, 昭和58年8月筑波において第1回エアロゾル科学・技術研究討論会が開催され, そこでエアロゾル研究者・技術者の間の研究交流と情報交換を目的とした「エアロゾル研究協議会」(3年程度を目途とした暫定的組織)が発足し, 以後継続してこのような討論会を開催していくことが決まりました。そして昨年8月京都において第2回討論会が開催され, 第1回討論会と同様に活発な討論と研究交流が行われました。

今年の研究討論会は, 昨年の討論会のような特定課題に限ることなく, エアロゾルに関するあらゆる分野を含む研究発表の場にしたいと考えておりますので, 下記をご参照のうえ, 多数のご発表とご参加をお願い致します。企業からのご発表も大いに歓迎しております。

なお, 今年も基礎エアロゾル講座(第2回)を昨年に引き続いて行う予定ですが, 詳細につきましては, 6月上旬に研究討論会のプログラムおよび参加募集案内とともに送らせていただきます。

開催日時 昭和60年8月22日(木), 23日(金)(夜懇親

会), 24日(土), 会期中エアロゾルに関する機器およびカタログの展示を会場において行います。

会場 東京理科大学 〒162 東京都新宿区神楽坂 1-3
講演募集分野 エアロゾルに関する全分野を含みますが, 一応次の分類に従ってお申し込み下さい。

(1) 生成と性状(燃焼を含む) (2) 測定 (3) 動力学と沈着現象 (4) エアフィルターと集じん (5) 大気エアロゾル (6) 生体影響 (7) 室内エアロゾル (8) その他

講演種別 (1) 未発表の研究 (2) 既往研究のまとめ (3) 最近既発表の研究

講演要旨原稿 日本語または英語。日本語の場合はアブストラクト, 図, 表, 文献名は英語とします。和文約2,000字詰原稿用紙1~3枚以内(用紙は申込み後送ります)。オフセット印刷。

講演時間 申込件数に応じて調整させていただきます(15分前後)。

講演申込締切 昭和60年5月15日必着

講演要旨原稿締切 昭和60年7月15日必着

討論会参加費 大学・官公庁5,000円, 企業10,000円, 学生3,000円(ただし申込締切後はそれぞれ6,000円, 12,000円, 4,000円)

講演申込等 本討論会に関する詳しいお問い合わせは下記までお願いします。

〒606 京都市左京区田中関町 2-7

思文閣会館33号 粉体工学会内エアロゾル研究協議会
 (TEL. 075-751-0195)